

研究主題 **豊かに生きる力の育成**
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「たがいの立場を明確にして、話し合おう」

2 単元の見どころ

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えを広げたりまとめたりすることができる。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

高学年の基礎的汎用的能力（夢4）	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と かかわる力  【人間関係形成・ 社会形成能力】	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って考え、思いやりをもって行動する力 相手と関わりながらよりよいものを創り上げようとする力 	①「話すこと・聞くこと」において互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	
自分を みつめる力  【自己理解・ 自己管理能力】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所短所を理解し、自分らしさを発揮する力 自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力 		①学習の見通しをもって、自分の立場を明確にした上で、互いの考えをもとにしながらか、考えを広げたりまとめたりしようとしている。
課題を やりぬく力  【課題対応能力】	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して自分に今何ができるのかを考え、計画、実践する力 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力 	①情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。 ②「話すこと・聞くこと」において目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	
次に つなげる力  【キャリア プランニング能力】	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶこと働くことの意義を理解する力 将来の夢について考え、実現に向けて設計、行動、改善する力 		

※キャリア教育と関連が密接なものはゴシック体・太字

4 部会提案

(1) 児童の実態と単元観

本学級の児童は、友達に対して優しく接していて、日常生活では円滑にコミュニケーションを図ることができる児童が多い。しかし、授業中には発言が控えめだったり、話し合い活動で自分の考えを伝えることが苦手な児童もいる。日常生活でのコミュニケーションは円滑に見えるが、実際には互いに遠慮をし、大事なことや気持ちを伝えきれていないことも考えられる。

本単元のねらいは、互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うことで、考えを広げたりまとめたりする力を育むことである。そのためには、話題に対して自分の考えをしっかりともち、意見の伝え方や質問の仕方、話し合いのまとめ方への理解を深めることが必要となる。話し合う価値や必然性のある議題を設定し、実際に話し合う中で、「どのように意見を伝えればよいのか」「どのように話し合いをまとめればよいのか」といった点について考えさせるようにする。

キャリア教育の視点では、この単元を通して、特に「自己理解・自己管理能力」を育てていきたい。そのために、本単元では、自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力を伸ばしたい。また、グループで話し合い活動を行うことにより、相手と関わりながらよりよいものを創り上げようとする力を伸ばし、「人間関係形成・社会形成能力」も育てていきたい。

(2) 高学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力

実現 (realization)

努力を重ね、「なりたい自分」に近づく子ども

(3) 本単元で目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】：話し合い活動を豊かにするために</p> <p>○話し合いの時間を確保する。</p> <p>児童が質問し説明が足りないところを補いながら、互いの意見を理解した上で話し合いをまとめることができるよう、話し合いの時間を2時間分確保する。1時間は「考えを広げる話し合い」、もう1時間は「考えをまとめる話し合い」とする。「考えを広げる話し合い」では、一人ずつ意見を出し合い、出された意見に対して質問したり、答えたりしながらそれぞれの考えを整理していく。「考えをまとめる話し合い」では、意見の共通点と相違点をそれぞれまとめる活動を行い、司会を中心に合意形成を図ることができるようにする。</p> <p>○話し合いの流れを提示する。</p> <p>司会者には進行の流れや言葉の例を示し、時間を意識しながら計画的に話し合いを進行していけるようにする。</p>	<p>【夢4】</p>  
<p>【手だて2】：主体的に活動に取り組むために</p> <p>○必然性のある話題を提示する</p> <p>来年度は本校の150周年の式典や集会等が行われる。そこで、学校全体や委員会などで何ができるか、実現するための具体的な方策を提案することを話題として設定した。この話し合いで児童らが提案した内容を、できる範囲で来年度の実際の活動に反映することを児童に伝えることで、児童が主体的に活動に取り組む意欲を高められるようにする。</p>	<p>【夢4】</p> 

5 指導計画（全6時間）

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	単元の見通しをもつ。	○150周年に向けて話し合い活動をすることを知る。	◆単元全体の見通しをもたせるために、学習のゴールを確認する。	【主①】 
	高める	2	自分の立場を明確にするために、150周年に向けてのアイデアや理由を考える。	○150周年に向けてのアイデアについて考える。 ○実現に向けての解決方法とその理由を考える。 ○自分が考えたものの中から一つ選び、具体的な提案を考える。	◆付箋紙を準備し、児童が考えを整理できるようにする。 ◆付箋紙は項目ごとに色を変えることができるよう4種類準備する。（学校全体で、6年生みんなので、委員会で、その他）
深める		3	話し合いの仕方を確かめ、進行計画を立てる。	○話し合いの仕方を確かめる。 ○役割を決める。 ○メモの取り方を確かめる。 ○コラム「意見が対立したときには」を読む。	◆話し合いには「考えを広げる話し合い」と「考えをまとめる話し合い」があることをつかませる。 ◆教科書を活用して、大切なポイントを押さえる。
	4（本時）	グループごとに話し合いをする。	○話し合いの流れ、目的、進め方、役割を確認する。 ○話し合いを行う。 「考えを広げる話し合い」 ○話し合いのよかった点、課題点を共有する。	◆おおまかな時間設定を示す。 ◆記録担当は話し合いの内容を記録しながら、質問や意見を出すことも伝える。	【主①】  
	5	グループごとに話し合いをする。	○話し合いのポイントを確認する。 ○話し合いを行う。 「考えをまとめる話し合い」 ○話し合いのよかった点、課題点を共有する。	◆前時に振り返った話し合いの改善点を板書し、話し合いのポイントを確認する。 ◆話し合いの感想を自分なりにまとめさせ、次時のポスターセッションにつなげられるようにする。	【思・判・表②】  
	6	グループで話し合ったことをもとにポスターセッションを行う。	○ポスターセッションの進め方を確認する。 ○ポスターセッションを行う。 ○学習全体を振り返り、感想をまとめる。	◆基本的な流れを示す。 ◆時間を設定し、教員が全体の進行をする。	【思・判・表①】 

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（6時間扱いの4時間目）

(1) 本時の目標

学習の見通しをもって、自分の立場を明確にした上で、互いの考えを基にしなが、考えを広げたりまとめたりしようとするができるようにする。

(2) キャリア教育の重点

◎話し合いの時間を十分に確保し、一人ずつ意見を出し合い、出された意見に対して質問したり、答えたりしながらそれぞれの考えを整理していく活動を通して、自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力を育む。【自己理解・自己管理能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 10分	1 話し合いの仕方について確認をする。	【全体】 ・板書	○前時までに学習した話し合いの仕方について確認する。
	2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">たがいの立場を明確にし、計画的にグループで話し合いをしよう。</div>	【全体】	
展開 25分	3 話し合いの進行計画を基に話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">考えを広げる話し合い</div> ・司会者が計画に沿って進行する。 ・記録者はメモを取るだけでなく、質問や意見等を話す。 ・自分が考えたものの中から、おすすめのもの一つグループで発表する。 ・友達の発表を聞いて、質問や意見を言う。 ・時間が余ったら、発表しなかった考えのうち、2番目におすすめの考えについて話し合う。	【グループ】 ・ワークシート	○話し合いをより活発にするために、記録担当は話し合いの内容を記録しながら、質問や意見も出すようにする。 ○話し合う中で、新たな意見が出てきてもよいことを伝える。 
	4 話し合いのよかった点、課題点を振り返り、全体で共有する。	【個人】 ・ワークシート 【全体】 ・発表	●学習の見通しをもって、自分の立場を明確にした上で、互いの考えを基にしなが、考えを広げたりまとめたりしようとしている。 【主①】 
まとめ 10分	5 次時の活動の見通しをもつ。	【全体】	○話し合いの振り返りをさせることで、次時の話し合い活動に生かせるようにする。

※波線はキャリア教育の視点

7 板書計画

<p>よいよい学校生活のために</p> <p style="text-align: center;">南第一小学校 百五十周年 おめでとう 企画</p>	<p>たがいの立場を明確にし、計画的にグループで話し合いをしよう。</p>	<p>考えを広げる話し合い</p>	<p>☆意見が対立したときには</p> <ul style="list-style-type: none">・ たがいの意見をしっかりと聞き合い、受け止め、話を前に進めていくことが大切 <p>○話し合いのよかった点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「○○さんはどう思いますか」というように意見を言っていたので、ほかの人の意見も聞くことができたとでもよかった。・ 質問をされたことで詳しく考えることができた。 <p>○話し合いの課題点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 質問されたことについて、答えられなかったので、次回はもう少し詳しく事前に考えて答えられるようにしたい。
---	---------------------------------------	--------------------------	---

8 実践を終えて

成果

- ・ 「南第一小学校の 150 周年をお祝いしよう」という必然性のある話題を設定したことで、児童が主体的に授業に参加できた。実現できるようにするためにはどうしたらよいか、各児童がそれぞれ考えをまとめていた。
- ・ 話し合いの時間を長く確保したため、自分だけで考えるのではなく、友達からたくさんアドバイスをもらい、自分の考えを広げられた児童が多く見られた。また、積極的に質問し合うことで多角的に考えられ、「自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力」（自己理解・自己管理能力）が見られた。さらに、考えを実現できる可能性を感じることで、単元学習前の話し合い活動に比べ、自分の考えだけでなく、相手の考えも大切にしようとし、「いいね。」「もっとこうしたらいいのでは。」と「実現するため」の話し合いが進み、「相手と関わりながらよりよいものを創り上げようとする力」（人間関係形成・社会形成能力）も見られた。
- ・ 単元学習後には、「自分の考えをもつこと」、「考えを深めるために交流すること」が他教科の話し合い活動においても見られるようになり、「自己理解・自己管理能力」「人間関係形成・社会形成能力」を養うことにつながったと考えられる。今後も児童に意欲的に話し合い活動を行わせていき、更なる育成につなげていく。

課題

- ・ グループの司会をした児童の振り返りを見ると、「うまくできた」と書いていた。これまでの自分と比べると成長を感じることができたようだった。しかし、話し合いが滞ってしまったり、一問一答のようなやりとりになっていたりするグループもあった。そのため、話し合いをより円滑に進行するために経験を積ませる必要がある。ロールモデルとなる小グループの話し合いを見合う活動を行うことで、円滑な話し合いのイメージが共有され、より活発な意見の出し合いができると考える。そうすることで、より「自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力」（自己理解・自己管理能力）を伸ばすことができるのではないかな。